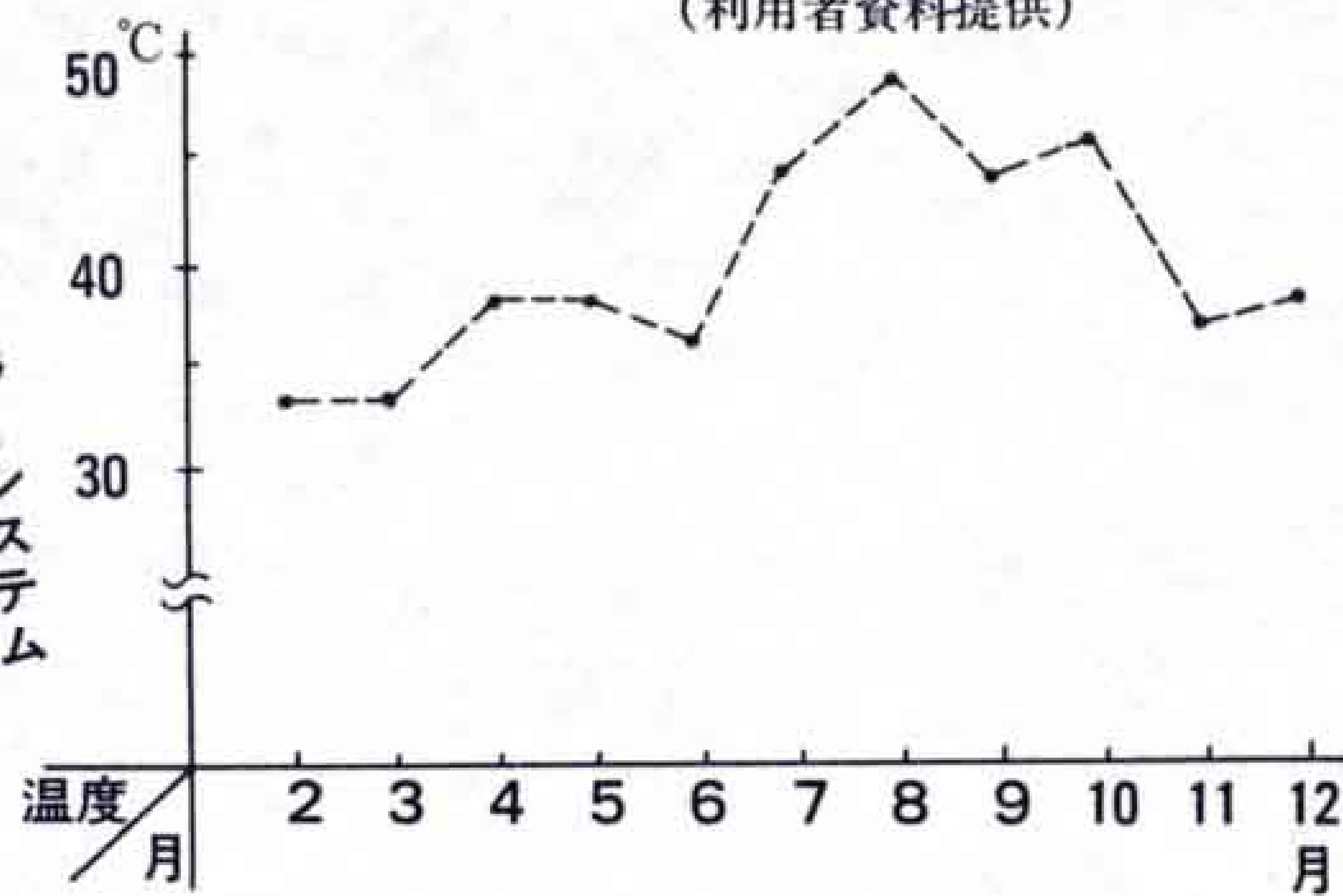




給湯のほとんどはソーラーシステム

駿河荘

温水器の年間月別平均温度
(利用者資料提供)



「年間約4万7,000円の燃料費が節約できた。」市が実施している、太陽熱温水器補助金制度の利用者から行ったアンケート調査では、このような結果が出ました。

太陽熱温水器補助金制度は来年3月まで。省エネ対策として太陽熱温水器を設置しようとする人は、この制度をご利用ください。

調査の結果、54.7%にあたる267人が回答を寄せてくれました。

1カ月3,894円節約

アンケート調査の結果は――。

まず、太陽熱温水器を設置した理由は「光熱費が節約できる」33.3%、「省エネルギーに協力できる」24%とこの2つで約半数以上を占めています。他の理由としては、「すぐお風呂が使える」15%、「補助金がもらえる」14.5%でした。

太陽熱温水器を使った感じは――の質問では、「期待したとおり良かった」と答えた人が80.5%で、大半を占めていました。しかし、「期待したより良くない」が14.6%あり、その主な理由は、「夏は良いが、冬は期待していたほど温度があがらない」としています。

温水器の使用を始めてから、1ヵ月間で節約できた金額は――の質問では、3ページ左上の表のとおり

わが家の省エネに

太陽熱温水器補助金

最高三万円まで補助します

アンケート調査を実施

市は、省エネルギー・代替エネルギーの普及促進をはかるため、昭和55年7月1日から太陽熱温水器を設置する人に、補助金を交付しています。

現在までにこの制度を利用した人は、昭和55年度317人、昭和56年度274人でした。今年度は7月現在で、すでに123件の申請があります。

市は今年の2月、この制度を利用した490人に対して、設置の動機や使用している感じなどのアンケート調査を実施。

健康づくりの中心に

推進員制度を発足

市は、今年度から地域における健康づくり活動の中心的役割を担っていただく、「健康づくり推進員制度」を発足。この制度は、今後5年間、推進員に健康づくりのための実践活動や啓蒙活動などを行ってもらおうというもので、推進員には、市内22地区から90人の主婦が選ばれました。7月22日、市役所10階予備室で開かれた第1回目の養成講座には、推進員及び看護学生150人余が参加し、植村研一浜松医大教授の記念講演を聞きました。



第1回目は、浜松医大 植村教授の記念講演